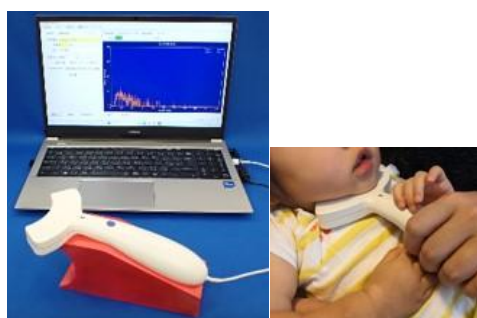


研修先 施設紹介

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所



放射線医学研究所は放射線被ばくから国民を守るための研究開発を行う研究所として令和3年4月1日に発足しました。その前身である放射線医学総合研究所時代も含め60年以上にわたり、放射線安全・緊急被ばく医療に関する研究を実施してまいりました。緊急被ばく医療分野では、我が国随一の経験を有し、多くのサンプルやデータを蓄積し、放射線による人体の障害予防、診断及び治療のための様々なミッションを遂行しています。

放射線は被ばく事故でのみ発生するものではなく、宇宙進出のような人類の長年の夢の実現にも、宇宙放射線の被ばく低減が課題になっています。また健康長寿社会に不可欠な放射線診療においても、より放射線リスクが少なく、診療上のメリットが大きい技術開発が求められています。そこで、さまざまな状況下での放射線による生物学的影響を定量的に明らかにし、その健康リスクの低減や障害の予防といった規制科学に資する研究開発にも取り組んでいます。さらに、線量評価や放射線障害治療分野での研究成果の社会還元に務めながら、緊急被ばく医療分野での教育訓練や研修指導により、原子力災害医療分野の人材育成も進めています。

今後とも、放射線に関する日本を代表する研究機関として、国内外の諸機関と連携を図り、放射線のリスクや災害に対してレジリエントな社会の構築に貢献してまいります。

放射線医学研究所ウェブサイト <https://www.qst.go.jp/site/nirs/>